

世界を変えた

エーイーティープレミアム<sup>®</sup>の伝説とは!!

実は現代にも、しかも我々に身近なオーディオの世界にも、  
「ハイパーチューニングデバイス」テクノロジーと銘打って、  
黄金比や白銀比を共振防止の構造設計に駆使した  
音の先駆者がいる。  
カオル・オバラ。その名を言った途端、  
またしても！とニヤリ、膝を打つ方も多だろう。  
そう、彼こそ現代のオーディオ界にあって、  
つねに最高のクオリティと新領域をめざして、  
驚愕の伝説を次々生み出している、風雲児なのだ。



**浅野孝己氏**

今やっているレコーディングでは電源ケーブルもAETに換えた。ライブでは通常あきらめているエコー感(リバーブディレイ)も滑らかに聴こえ、音の粒が見えるようだ。

ロックバンドGODIEDOの伝説を作ったギタリスト。自身が結成したTAGCやForever 50などのバンドを中心に精力的な活動を行っている。楽器の開発やゲームミュージックの制作など、音楽全体に幅広い活動を展開している。



**吉田次郎氏**

弦の音が違う。AETに換えて音の流れが明らかに変わったね。まさにギタリスト本来の実力を発揮できるブランドだ。今までのシールドは、楽器本来のサウンドを伝えていなかったと分かるよ

New Yorkで音楽活動を行っているギタリスト。オリバー・レイクやフリスハイマン、ジョー・サンブル、マイケル・フランク、リック・リー・ジョーンズ、セルジオ・メンデス、フィービー・スノウといったアーティストのツアーサポートも行う。1995年、音楽監督としての作品がグラミー賞にノミネート。



**日野ジノ賢治氏**

AET製品を日常的に使用し、2008年に日本国内のインストルメント部門でもとも人気を博したCD「DOUBLE TROUBLE」でもAETケーブルを使用し、リスペクトしています。

ベーシスト。Nikon COOLPIX 世界Webイメージソングを制作/演奏。“TETSUJINO”の1st CD「DOUBLE TROUBLE」が、アドリブ誌のアドリブ・アワード2008を受賞(国内ジャズ・フュージョン部門)



**櫻井哲夫氏**

低音から高音までの繊細なワイドレンジを見事に表現してくれるので違いが分かります。ただ音質が良くなるのではなく、楽器の良い成分が見えて非常に音楽的です。AETのケーブルは本当に素晴らしいと思います。

ベーシストとして「カシオペア」「JIMSAKU」で活躍。1979年レコード・デビュー、現在はソロ・アーティストとして精力的に活動。



**鮫島 巧氏**

ライブ・レコーディング、自宅スタジオ、全てにおいてAETのケーブル、電源に信頼を寄せて使っています。そのサウンドは衝撃的で、あまりの変化に今までは何だったのだろうと思ってしまうほどでした。

ギタリスト/コンポーザー/プロデューサー。15歳よりギターを始め、16歳でギタリストとしてTOSHIBA EMIよりデビュー。以降、STARS(BMGJAPAN)などのバンド活動を経た後、SUGIZO、雅-MIYAVI、土屋アンナ、中川晃教、HONEY L DAYS、Gacktら様々なアーティストのサポートギターで活躍。バンドマスター、ライブアレンジ、プログラマーとして関わる事も多く2009年には、18カ国27公演の雅-MIYAVI-ワールドツアーのバンドリーダー、ギターを務める。またAKB48などに楽曲提供を行う他、青山劇場で行われた黒木メイサ主演舞台「女信長」の編曲を担当するなど、幅広いジャンルで活動している。



**トム・スウィフト氏 (TOM SWIFT)**

グラミー賞受賞エンジニア、トム・スウィフト氏もAETプロダクトを絶賛しています。トム氏は、AETケーブルを試した瞬間、その芸術性と完成度を高く評価し、その事実を皆様にお伝えすることを快く認めて下さいました。



**ジェイ・グレイドン氏 (JAY GRAYDON)**

「これは凄い! このケーブルは凄い! 考え抜かれた設計と高音質だ。ソリッドでタイトなローエンド、甘いミッドレンジ、透明なハイエンド、このケーブルはすべての音楽にマッチするね」

エアブレイ・TOTOの大物ギタリスト。代表曲“After The love Has Gone”で知られるグラミー賞受賞アーティスト。



**杉山勇司氏**

画一化された機材を使ってレコーディングをする昨今、音の差をつける方法は多くありません。エンジニアリング・テクニック以外に、他のレコーディングと差をつける方法がここにあります。

レコーディング・エンジニア/プロデューサー。ナーヴ・カツツエ、X JAPAN、L' Arc~en~Ciel、dropz、睡蓮などを担当。著書に「レコーディング/ミキシングの全知識」



**本間昭光氏**

「いきものがかり」のライブツアーの現場で、まずはPCの電源ケーブルを取り替えてみた。すると個々の音色の輪郭と存在感が増しモニタリング環境が飛躍的に改善された。要するに全てが「良い音」になったのだ。何故電源を替えただけでこうなるのか正直わからない。しかし現実が目の前に拡がっている。これには心底驚いた。

プロデューサー/作曲家/アレンジャー。4歳よりピアノ/wpを始める。手がけたアーティストは、いきものがかり、ボルノグラフィティ、SMAP、ROCK' A' TRENCH、平井堅、浜崎あゆみ、aiko、広瀬香美、KinKi Kids、福垣潤一 等多数。

エーイーティ製品は皆様のおかげで大ヒットしておりますありがとうございます。

## 計り知れぬ多才をもつ プロデューサーカオル。

AETブランドを現在の地位にまで急成長させた小原薫。その日常は、謎に充ちたものだ。ある時はライブや録音を仕切る国際的音楽プロデューサー。ある時は特許発明をひっさげて新機軸を打ち出す音響エンジニア。と、実に多才な顔を持つ。若くして既に数多き伝説。その中でも、つねに熱く語られるのは、グラミー賞受賞アーティストのトム・スイフト氏、ジェイ・クレイドン氏をはじめ、杉山勇司氏、吉田次郎氏といった面々との運命的かつ感動的な出会いの「コマダ」。

## 異才が嗅ぎ分ける、 天才たちの音の悩み。

「彼らは、あきらかに自分の奏でたいサウンドのイメージを持つている。でも、どうやったらその音を出せるのか、ずっと悩んでいた。言葉の端はしに、求めるイメージを感じ取った僕は、ケーブルでそのサウンドを実現してみせたんだ。それは、きつと二人一人にとって奇跡のような出来事だったのだと思う。僕へのその後の態度に、すべてが窺われたね。」  
こうして、今も続く以心伝心のパートナーシップがスタートした。この体験は小原に、天才アーティストといえども、セオリーを踏んだオーソドックスなサウンドを理想としていることを知らしめた。小原は、持ち前の論理脳と感性脳の統合野で、そのサウンドをびたりの中予測し、ジャストチューンするケーブルノウハウを構築してみせた。

「アーティストとか言うと、感覚的な部分ばかりがクローズアップされるけど、実はきわめて基本の積み上げに忠実なんだ。僕の仕事は、彼らの感性とテクニカルな必然を、連携

させてあげること！」

狙っている音の理想を予測し、デリケートにチューンする。言うのは容易いが、実は至難の技だ。そこには、不可能を可能にする小原薫個人のバックボーンが見え隠れする。

## 技と感性との二線。 その統合領域に挑む。

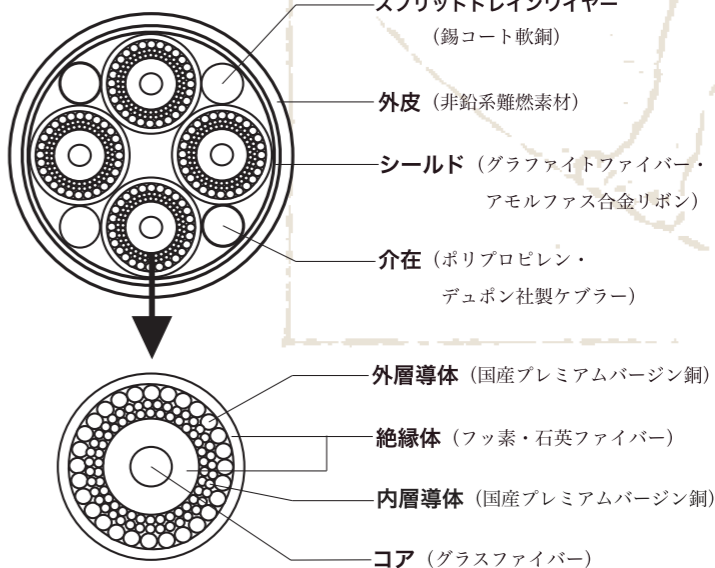
小原は、幼少から祖父のもと、様々な芸の稽古に通わされた。その経験は、感性(センス)と感覚(フィール)の違い、技の鍛錬で到達出来る領域と単なる技を超えた「匠」の世界との一線、その見極めの力を授けた。名だたるビッグアーティストは、直感的に小原のそうした仕事の能力を見抜いて、高く買ってくれているのだ。技術者としての小原。その才能は、精緻なケーブル構造設計に開花することとなる。  
AETのシリーズヒットの皮切りとなった「EVO」シリーズ。その「2層円筒構造」。これこそケーブルの常識を打ち破った名機の意匠と呼べるものだ。

## 素粒子潮流を先取る 先見のエンジニアリング。

信号は「電子」である。そして電子は目に見えぬ「素粒子」の代表選手だ。ところで最近はいPodなどが趨勢だが、オーディオと言えばこれまで、重いトランスを積んだ筐体システムが長く主権を握ってきた。ケーブルはと言えば、機器と機器をつなぐ脇役だった。しかし、電子のデリケートかつ奇妙な振る舞いが素粒子物理学で解明されつつある今、実はこの電子を橋渡しするケーブルこそが、音のクオリティを左右する主であるとか分かってきたのだ。そうした認識

を、早くから製品作りに反映させた点が、エンジニア小原の先見の明である。余計な抵抗を受けずに、電子が一気に速やかに大量に流れるミクロの構造設計。改良に改良を重ねた結果、「3層円筒構造」は考案された。

EvidenceAC構造断面図



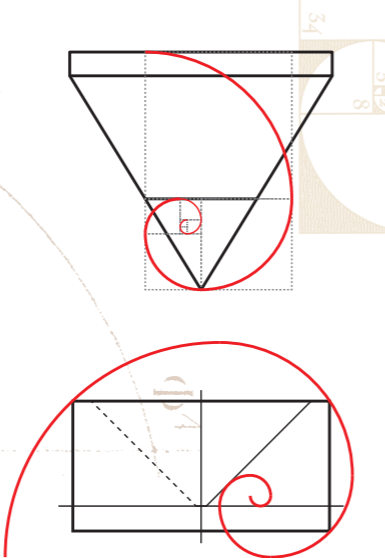
## 組成の肌理が違う レアマテリアルが手に入る幸運。

だがAETの創意やこだわりは、ここまでで終わらない。観察するだけで、振る舞いを変えてしまうほどデリケートな素粒子の側に立てば、実は導体の組成までもが伝導率や速

ターに、なぜ黄金比が導入されたのか？という疑問への正解を小原に代わって熱く代弁してくれながら…。

This is the greatest episode!

黄金比を用いた設計イメージ図



## 小原薫 プロフィール

幼少期に経済人の祖父から芸術、帝王学を叩き込まれる。機械工学、科学、物理、芸術全般に深い造詣を持つ。グラミー賞アーティストのJ・クレイドン氏、トム・スイフト氏をはじめ音楽プロデューサーの本間昭光氏や杉山勇司氏、ギタリストの浅野孝己氏(ゴタイゴ)、吉田次郎氏、日野ジノ賢治氏、櫻井哲夫氏といった超一流アーティストから厚く信頼され、音楽業界屈指のヒットメーカーとして広く知られる。音楽プロデューサーを正業としながらも、オーディオメーカーや楽器メーカーからの依頼も受けている。



世界最高のACプラグといわれるPSE-018シリーズは本体に「透明な鉄」と喩えられる対衝撃ポリカーボネート樹脂を採用



日本で初めてPSEを取得した320コネクター、リン青銅の約1.5倍の導電性を誇る銅合金に純金やロジウムをコーティング。

## 一聴してわかる音の違いは、 テレビ電波を介しても窺い知れた。

1年ほど前。テレビの人気クイズ番組で、AETのスピーカーケーブルを付け替えることで、音の違いを体験し、ゲスト回答者がケーブル価格を言い当てる出題があった。AET品質の歴然たる差に驚いたのは実際に生の音をま



ピラミッドをモデリングし、強度を徹底的に追求したインシュレーター。



純正律に音楽に特化した周波数のみを選定したストレッチCD

も必須アイテムに加わったと聞く。世界のビッグネームからリスニングルームオーナーまで、今やAET愛用者！華麗なスーパースターアーティストとの数々の逸話や伝説とともに、熱烈なAETファンは確実に一般の人々の間で増え、そのユーザー自身がたった今もその名声を世界中で広めてくれているのだ。なぜ、ケーブルがこれほど高価か？ インシュレ